

# II. 自動車系案内の方向性(2)

2. 地名案内の信頼性向上

3. 現在位置の識別性向上の検討

## 2. 地名案内の信頼性向上

路線番号表示による案内を基本とした場合においても  
地名による案内は依然一定の役割

(地名表記に関する基準[s61])

表示地名の選定ルールと規則的表記を規定

(現状)

- ・地域性を強調した独自表記や設置者の配慮不足により  
表記に乱れ



地名表示の信頼性を阻害

- ・ユーザーに対する表示ルールの周知不足



その機能を発揮しきれない

## 1) 表示ルール of 徹底 (乱れの点検と是正)

表示に用いる目標地(「重要地」「主要地」)の選定ルールを徹底し、表示の連続性・一貫性を確保



- ・各地域、道路管理者毎に表示地名の乱れの点検  
→早急には是正
- (市町村合併等の動きも踏まえ、必要に応じて選定目標地の妥当性についても、検証)

地名表記に関する基準(S61)

【重要地】 県庁所在地、政令指定市、地方生活圏の中心都市、主要幹線道路が相互に交差する結節点を有する市

【主要地】 二次生活圏の中心地、町、主要幹線道路が相互に交差する結節点を有する町



## 2. 地名案内の信頼性向上

### 2) ユーザーに対する周知

表示に用いる「重要地」「主要地」については、それが標識に表示される地名であることをユーザーへ積極的に周知



規則性の広報や道路地図への反映

道路地図に反映することで、  
地図上での旅行計画作成から  
実際の走行時の標識読み取り  
まで、地図—旅行者—標識の  
間の共通の言語が提供

目標地の道路地図への反映イメージ



### 3) 色分けによる識別性向上の検討

1ヶ所に表示される多くの情報の中から関心のある情報を素早く認識



- ・都市間案内と都市内案内
  - ・地域(エリア)名称と地点(ポイント)名称
- } 色分け表示の検討

○域外/域内地名の表示色を変えているドイツの事例



域外目標地(遠地): 黄地+黒文字

域内目標地(近地): 白地+黒文字

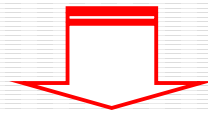
## 3. 現在位置の同定性向上

案内の基本要素:「指示(Direction)」と「同定(Identify)」



道路案内では「同定性の確保」の要素が欠落

現在の標識は、案内板から目標地が消えることで、当該地点に到着したことを認識する「引き算」的仕組み



現在地・目標地の同定へ向けて

- 1) 主要交差点における表示の充実
- 2) 地点標(キロポスト)の活用
- 3) 「地域」の同定性の確保

### 3. 現在位置の同定性向上

## 1) 主要交差点名における表示の充実

現位置確認の有効な手法として、交差点表示を充実

その他、

- ・道路地図・カーナビへの反映
- ・交差点手前(通常300m)の予告標識への表示の検討



交差点名称の表示例



地図やカーナビでの交差点名称表示例

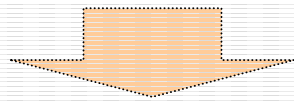
### 3. 現在位置の同定性向上

## 2) 地点標(キロポスト)の活用

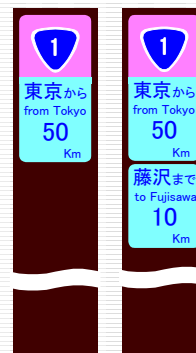
・道路周辺に現在位置を把握できる適当な目印があることで現在地の同定が可能



・現在地の把握はキロポストの活用が有効



・キロポスト情報の地図・カーナビへの反映



地点標の表示例・設置例



地図への地点標表示例

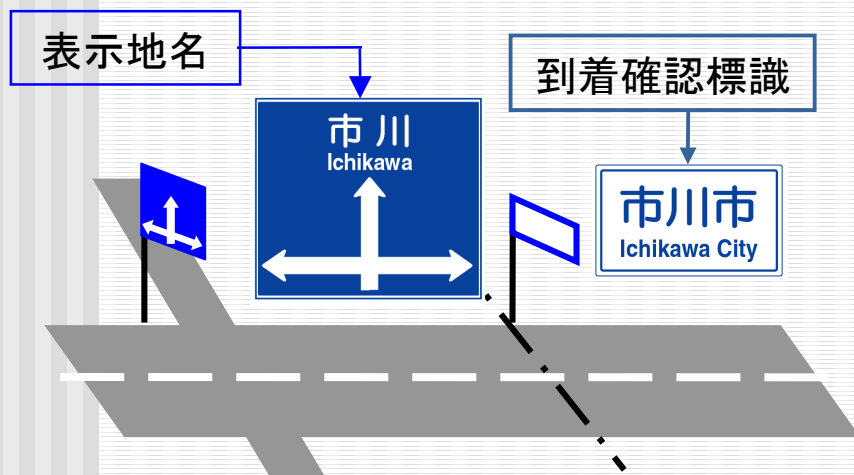


### 3. 現在位置の同定性向上

## 3) 「地域」の同定性の確保

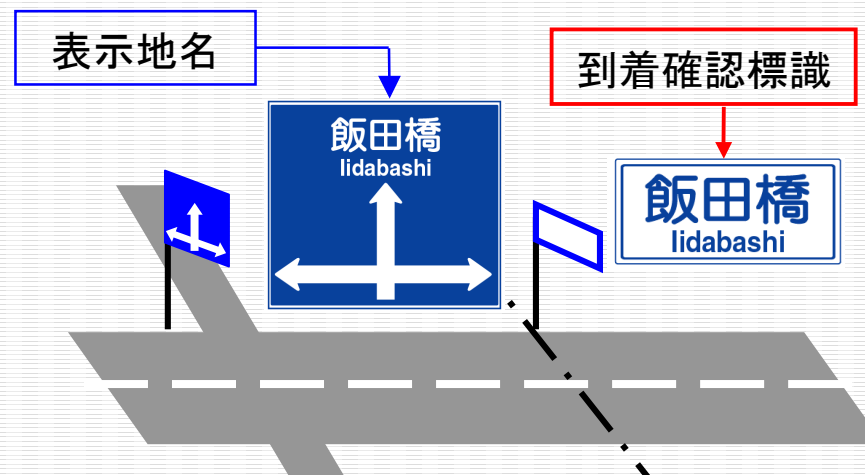
標識に表示する目標地名は、市町村単位等の「エリア」

#### 1. 目標地が市町村単位



現状：「市町村」標識で到着確認

#### 2. 目標地が市町村単位でない場合



現状：明確な表示システムがない

「著名地点・主要地点」標識の活用で同定性を確保